

(2) 辰野千壽教育賞実行委員会

① 設置の趣旨（目的）及び組織

ア 組織設置の趣旨（目的）

辰野千壽教育賞実行委員会は、本学の創立 30 周年を記念し、初代学長である故辰野千壽先生の長年にわたる教育・研究業績の精神を受け継ぎ、我が国の教育に多大な影響を与える優れた教育・研究の振興に貢献するため創設された辰野千壽教育賞の実施及び運営を行うため、上越教育大学「辰野千壽教育賞」実施要項第 5 条に基づき設置されたものである。

イ 組織の構成及び構成員等

辰野千壽教育賞実行委員会は、学長が指名した理事 1 人、学長が指名した副学長 1 人、専攻長、学長が指名した附属学校長 1 人及び学校教育実践研究センター長で組織されている。

② 運営・活動の状況

ア 委員会等の開催状況

令和元年度は、4 回開催した。

イ 審議された主な事項

審議事項は、①第 12 回（令和元年度）辰野千壽教育賞の募集、②同教育賞一次審査の実施、③同教育賞の選考【一次審査】、④選考結果の通知及び公表、⑤同教育賞授与式等の実施、⑥令和元年度年度計画に係る自己点検・評価の実施及び令和 2 年度年度計画案の策定、令和 2 年度事業に向けた検討、⑦第 13 回（令和 2 年度）辰野千壽教育賞の募集、等であった。

ウ 重点的に取り組んだ課題や改善事項

教育情報誌等への募集概要の掲載を実施するとともに、募集要項の関係方面への送付及びホームページ掲載により、辰野千壽教育賞の一層の周知を図った。第 12 回（令和元年度）の本教育賞授与式は、令和元年 10 月 4 日に実施した。

③ 優れた点及び今後の検討課題等

平成 20 年度に創設された辰野千壽教育賞は、令和元年度に 12 年目を迎えた。この間、全国各地から延べ 200 人を超える教員等の応募があり、辰野千壽教育賞の目的を十分に達成していると言える。

今後更なる応募者増加のための方策を継続的に検討・実施していく必要がある。また、本教育賞の事業は、上越教育大学基金により運営されており、事業費の確保が課題である。